

乳癌(補助化学療法)

PTX weekly × 12+trastuzumab療法 (導入)

()コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

アルコールアレルギー ※
必ず無しを確認

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース 21日。連続4コース。

使用基準: 開始時; class B、2回目以降; class C

《使用薬剤》

パクリタキセル (PTX): パクリタキセル (1V: 30mg/5mL, 100mg/16.7mL)

トラスツズマブ: トラスツズマブ (1V: 150mg, 60mg)

※ 投与前～投与中の心機能異常に要注意

※ Infusion Reaction に要注意

投与中又は投与開始後24時間以内に多く現れるInfusion reactionのうちアナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用(気管支痙攣、重度の血圧低下、急性呼吸促迫症候群等)の発現の報告あり。

Infusion reactionが高頻度で発現する点滴開始後2時間以内は特に要注意。

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)	投与日
パクリタキセル	80 mg/m ²	#VALUE!		1, 8, 15
トラスツズマブ	8 mg/kg	#VALUE!		1

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day1

10月10日 (水)

内服 レスタミンコーワ (10mg) 5 T 点滴直前に内服

0時00分	①	生理食塩液 50mL + ガスター 1A + デキサート 6.6mg ※デキサート初回は6.6mg、2回目以降は3.3mg (1.65mg × 2A) 可、半量ずつ1.65mg × 0.5Aまで減量可 15分で点滴静注		
0時15分	②	生理食塩液 100mL 30分で点滴静注		
0時45分	③	生理食塩液 250mL + パクリタキセル 0.22μ以下のフィルター一体型輸液セットを使用する 60分で点滴静注	mg	0.0ml
1時45分	④	生理食塩液 250mL + トラスツズマブ 90分で点滴静注	mg	0.00 ml
3時15分	⑤	生理食塩液 50mL (フラッシュ)		

day8

10月17日 (水)

内服 レスタミンコーワ (10mg) 5 T 点滴直前に内服

0時00分	①	生理食塩液 50mL + ガスター 1A + デキサート 6.6mg ※デキサート初回は6.6mg、2回目以降は3.3mg (1.65mg × 2A) 可、半量ずつ1.65mg × 0.5Aまで減量可 15分で点滴静注		
0時15分	②	生理食塩液 100mL 30分で点滴静注		
0時45分	③	生理食塩液 250mL + パクリタキセル 0.22μ以下のフィルター一体型輸液セットを使用する 60分で点滴静注	mg	0.0ml
1時45分	④	生理食塩液 50mL (フラッシュ)		

day15

10月24日 (水)

day8と同様に行う

※ ①と③の間は少なくとも30分間隔をあけて投与